

=====

地域循環共生圏登録団体メールマガジン Vol.3

[2020.3.31]

=====

URL : <http://chiikijunkan.env.go.jp>

※メールマガジンへのご意見・ご感想をお待ちしております！

※メルマガで宣伝したいイベント等がありましたら事務局にご連絡ください！

[目次]

■地域循環共生圏・なうっ！

- ・情報交換会はWEB会議で実施！！
- ・支援チームの連絡調整会議で今年度の成果を報告！

■お知らせ

- ・国土交通省「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」のご紹介

■WEBサイトリニューアルと登録地域へのアンケート

- ・WEBサイトリニューアルのお知らせ
- ・登録地域の皆様へのアンケートのお願い

■事務局の年度末対応についてのお知らせ

■記事投稿の募集

=====

■地域循環共生圏・なうっ！

(1) 情報交換会はWEB会議で実施！！

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、皆様の地域でも手洗い・マスクの着用などに取り組まれていることでしょう。環境省でも予定していた多くのイベントが延期・中止となりました。そのような状況の中、3月9日、10日に令和元年度地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体に選定された団体との情報交換会をウェブ会議で開催しました。

各地域から、目指す地域の姿、地域のビジョンを実現するための成果指標、コアとなる事業（3つの事業のタネ）、今年度事業の成果と課題、今後の意気込みが発表され、チャット機能を活用しながら情報交換を行いました。

地域から地域への質問も飛び交い、新しい形の「まなびあい」の場を、ある意味、“リアル”に感じました。YouTubeでの限定配信も行ったことで、発表や質疑応答に参加した担当者以外の関係者にも共有することができました。

事務局としても初めての試みでしたが、今後も地域をつなぐ新しい方法として活用していきたいと考えています。

(2) 支援チームの連絡調整会議で今年度の成果を報告！

プラットフォーム事務局では4つの地域へ、地域のニーズに応じてプロフェッショナル

人材（専門家）からなる「支援チーム」を形成・派遣し、それぞれの地域の事業構想や事業計画案の作成・具体化などをサポートしています。

今年度最後となる連絡調整会議では、活動成果の報告と振り返りが行われました。

< 4 団体の主な取組内容 >

◎北岩手 9 市町村（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）では、事業のタネの棚卸しや、注力する 7 事業への絞り込み、今後の取組の具体化を行いました。

◎小田原市では、5 回の研究会にて、事業のタネ、実施主体の掘り起こし（若手を中心とした 14 名の事業の担い手候補と、14 個の事業のタネの掘り起こし）、事業のアイデア出しとビジネスモデルキャンパスを使った事業内容の整理を行いました。

◎真庭市では、「里山の恵み」と「商品・コンテンツ」を繋ぐ全体戦略の検討・ブラッシュアップ、商品・コンテンツのビジネスモデルの検討、蒜山の草地活用や真庭里海米の戦略骨子の検討およびビジネスモデルのブラッシュアップなどを行いました。

◎海士町では、環境指標の専門家による資源循環関連指標の作成への支援、産業連関表の専門家による活用方法の研修や、産業部門別の自給できていない部分の共有化などを行いました。

=====

■お知らせ

国土交通省より、会員登録無料でどなたでも参画・連携することが出来る「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の設立の案内がありましたので、登録地域の皆様にお知らせします。

「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」が 3 月 19 日に設立されました！

～自然を味方に、より安全で緑と水の豊かな環境づくり、始まります～

<https://gi-platform.com/>

◎自然環境が有する多様な機能を賢く利用するグリーンインフラの推進のため、多様な主体が幅広く参画・連携する「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」については、第一回総会（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前登録頂いていた仮会員を対象にした電子メールでの書面開催）を行い、過半数の賛成が得られたため、令和 2 年 3 月 19 日に設立されました。

◎3 月 18 日（水）時点での会員数は 409 者です。

会員になると、本プラットフォームの総会や専門部会（企画・広報部会、技術部会、金融部会を予定）に参加することができます。

引き続き、会員の募集を行っておりますので、ご興味のある方は会員登録をお願いします。

◎来年度の活動内容については、グリーンインフラ推進のために必要な仲間づくりの場、情報を発信・収集する場、オープンに議論する場、普及啓発を進める場となるよう、運営委員会にて議論、決定次第、グリーンインフラ官民連携プラットフォームサイトにてお知らせいたします。

=====

■WEB サイトリニューアルと登録地域へのアンケート

(1) WEB サイトリニューアルのお知らせ

本日より現在の WEB サイトは、「環境省ローカル SDGs—地域循環共生圏づくりプラットフォーム—」としてリニューアルいたします。

WEB サイトでの様々な情報提供とともに、「まなび」や「であい」のイベントをご案内してまいります。是非、一度、WEB サイトをご覧になってみてください。

<http://chiikijunkan.env.go.jp>

(2) 登録地域の皆様へアンケートのお願い

今後、「環境省ローカル SDGs—地域循環共生圏づくりプラットフォーム—」でご案内するイベント等について、どのような形であれば皆様が参加しやすくなるのか、どのような内容であれば、地域の課題解決に役立つのか、登録地域の皆様の声をお聞きしたく、アンケートにご協力いただきたくお願いいたします。

アンケートは下記の Google フォームを利用して回答をお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe6b90OXTsgIUHaz_lalGQ9r-xoZDNynCa1cRgb06qJjQAwXA/viewform

【回答締切】 令和 2 年 4 月 15 日（水）

=====

■事務局の年度末対応についてのお知らせ

日頃より、「環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業」にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

令和 2 年 4 月 1 日（水）以降、本プラットフォームに関する問い合わせ先を変更いたします。実践地域等登録制度の申請受付、プラットフォームに関する問い合わせは、下記のとおりとなりますので、お間違いのないようご注意ください。

ご不便おかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

★問合せ先：3/31（火）まで

地域循環共生圏登録制度事務局（いであ株式会社内）

電 話：045-593-7639

メール：help@chiikijunkan.jp（ヘルプデスク）

touroku@chiikijunkan.jp（実践地域等登録制度）

★問合せ先：4/1（水）以降

環境省大臣官房環境計画課

電 話：03-5521-8328

メール：sokan-keikaku@env.go.jp

担 当：川上、富山

■記事投稿の募集

地域循環共生圏実践地域等登録制度に登録いただいた団体の皆様から寄せられた地域の取組や活動の情報、地域で開催予定のイベントなどもご紹介していきたいと考えています。地域での取組の紹介、イベントの開催など、皆様の投稿記事をお待ちしています！

記事の投稿は、タイトル、投稿者（所属も）を明記の上、touroku@chiikijunkan.jpへお送り下さい。なおご投稿いただけるのはテキスト情報のみですが、ブログ、フェイスブック等のSNSへのリンク先URLの掲載は可能です。

=====

※このメールマガジンは、地域循環共生圏実践地域等登録制度に登録いただいた団体の皆様に登録制度事務局より送信しています。

※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

宛先：touroku@chiikijunkan.jp

★地域循環共生圏登録制度事務局 発行★

担当:弓木、木村（いであ株式会社（環境省事業受託者））

〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕2丁目2番2号

=====